

◇富士みのり保育園の保護者の皆様へ

平成29年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である(株)学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページ (<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html>) からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

園の保育サービスに、子どもだけでなく保護者にも満足してもらえるように努めており、保護者の満足度の高い保育園です

園では、子どもだけでなく保護者にも満足してもらえるような保育の提供に努め、できるだけ保護者の要望に答えられるよう取り組んでいます。今回の第三者評価における利用者調査の回収率は49.6%でしたが、総合的な感想は、たいへん満足と満足と合わせると98.4%で、保護者の満足度はとても高い結果でした。保護者の自由意見には「園の教育法が良いので、いろいろな面で子どもの成長が感じられる」「小学校に入る前の基礎をしっかり作ってくれる」「給食がとても良い」「先生方が熱心だ」など、園を高く評価する声が多数ありました。

おいしく安全な給食を子どもたちに提供するために、また保護者の理解を深めるために、さまざまな工夫をしています

食は子どもの健やかな心身と豊かな人間性を育てる基礎であると考え、園は給食に力を入れています。食材は旬のものやできるだけ添加物の少ない新鮮なものを使用し、薄味を基本に素材の味がわかるように調理し、磁器の食器を使用して適温で提供しています。また、衛生管理を徹底し、都の食品衛生自主管理認証制度の認証園に指定されており、定期的に認証審査を受けています。給食のサンプルは年齢別に3種類を玄関に提示し、保護者の要望により試食にも応じています。利用者調査では食事について、肯定的な意見が96.9%と高い評価を得ています。

子どもたちの可能性と能力を引き出すために、子どもの発達に合わせて総合的な指導をしています

園では、子どもたちの可能性と能力を引き出すために、「心の力・学ぶ力・体の力」を身につける指導を行っています。そのため独特な教育法を取り入れています。「心の力」とは正義感や道徳観といった心に関するもの、「学ぶ力」とは理解力や思考力、洞察力を兼ね備えた力のこと、「体の力」とは体力や柔軟といった体力のことです。そのため読み、書き、計算や跳び箱、柔軟体操などを日常的に行っています。主に3~5歳児を中心に行っていますが、2、3歳児には前段階として基礎教育を取り入れ、子どもの発達に合わせた指導をしています。

さらなる取り組みが期待される点

子どもの名前や写真などの個人情報の利用については、それだけに絞った同意書を作成されてはいかがでしょうか

園では、子どもの名前や写真を園内掲示やホームページ、園だよりなどで使用しています。こうした個人情報の利用については、入園時に保護者から、「保育するにあたって」という文書で確認できたという署名を得ています。この「保育するにあたって」という文書は、個人情報保護だけでなく、子どもの健康状態によっての園の対応方法や、園の苦情解決の仕方など、複数の項目に対する園の対応方法を説明した文書です。個人情報保護についてはほかと区別して、内容をそれだけに絞ってより明確に示した同意書の作成を検討されてはいかがでしょうか。

子どもの園での様子を保護者へ伝達することについては、さらなる工夫を検討されることを期待します

家庭と園との連絡については、0~2歳児は育児日誌で、3~5歳児は連絡ノートで行っています。また、園の玄関にはモニターを設置して、月々の主な保育内容を画像にして保護者に開示しています。ただ、今回の第三者評価の利用者調査では、お迎え時に子どもの日中の様子をもっと詳しく教えてほしいという意見がいくつかありました。また、お迎え時の伝達は職員によって対応が違ってしまうという意見も見られました。子どもの園での様子などの情報伝達については、さらなる工夫を検討されてはいかがでしょうか。

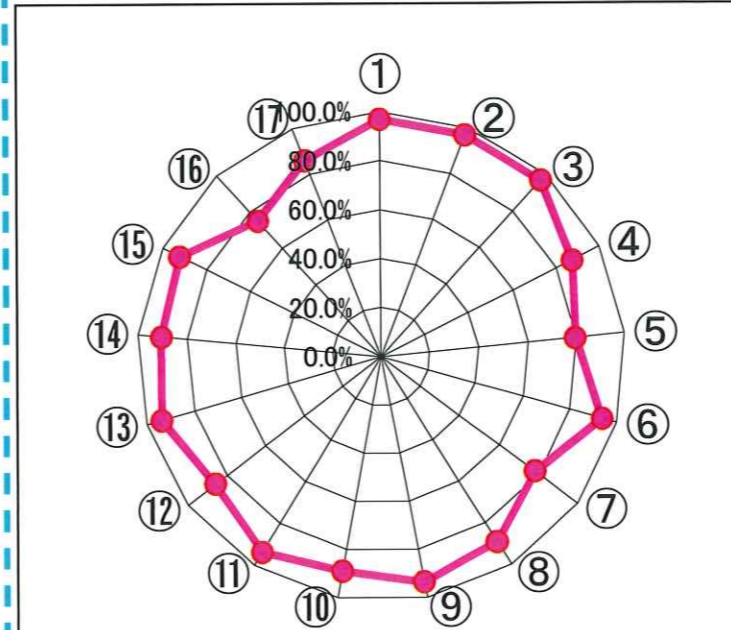
幼保連携型認定こども園に移行するにあたって、新たに生じるかもしれない課題への対応方法を事前に検討されてはいかがでしょうか

来年度、認可保育園から幼保連携型認定こども園に移行します。それに伴い、職員体制は保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を取得した職員を確保し、移行の準備を進めています。教育・保育内容も園が力を入れて取り組んでいる教育面を充実させるなど工夫を重ねています。ただ、認定こども園への移行にあたっては、新たに課題が生じることも想像できます。例えば、短時間利用者と長時間利用者の園に求めることは違うかもしれません。移行当初に生じるかもしれない諸問題についても検討し、対応方法を考えておくことをお勧めします。

利用者アンケート結果概要

実施期間：平成29年12月4日~平成29年12月18日

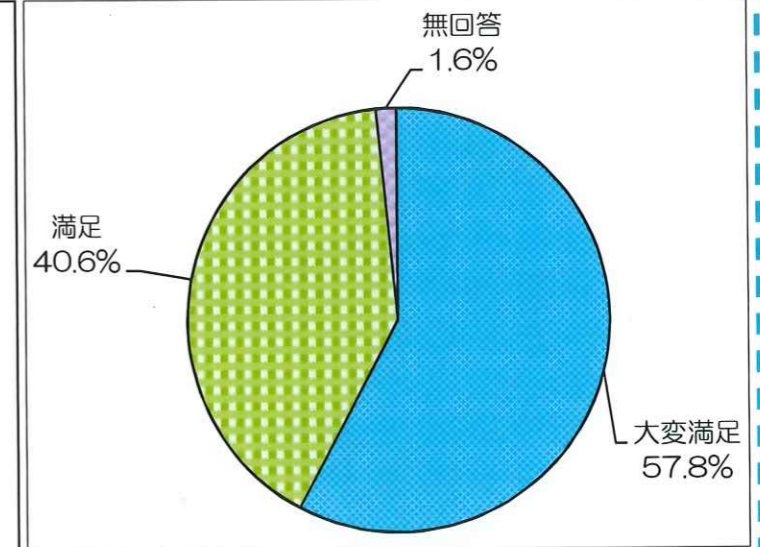
質問別「はい」の回答率



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

園に対する総合満足度の結果



利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに、約一か月かかります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

平成29年度受講の第三者評価の結果となります。皆様に頂いたご意見を今後の課題として、より良い保育につなげていけるようにしていきます。
何かお気づきの点がございましたら、お知らせください。今後とも皆様のご協力を頂きこども園として進めて参ります。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)

